

資料3

調達委員会における調達コストの削減結果

- 平成16年10月に社会保険庁本庁内に社会保険庁調達委員会を設置し、調達削減目標の策定、調達計画の進行管理、調達案件の事前審査等を行い、契約方式や購入数量等をチェックすることにより、調達業務全般について競争性・透明性の確保及び調達コストの削減を実施している。
- これまでの調達委員会における調達コストの削減結果は次のとおり。
(平成17年7月第17回開催分まで)

・ 件数	299件	(平成16年度契約分 79件)
		(平成17年度契約分 220件)
・ 削減額	調達計画額798億円に対し、執行額・概算見込額が730億円であり、68億円が削減された。	
	(平成16年度契約分 23億円)	
	(平成17年度契約分 45億円)	

主な改善事項

1 契約方法

○地方庁毎の競争入札について、本庁で一括して競争入札に付すこととした。

年金相談センターの新設に伴う備品購入他 8 件

○随意契約から競争入札に改めた。

診療報酬磁気化補助業務委託他 1 6 件

2 コスト削減

○随意契約から企画競争に改めた。

新成人用リーフレットの作成（冊子の簡略化・調達数量の精査により、調達計画額1,579万円が契約額687万円となり、892万円が削減された）
学校における年金教育に必要な副読本の作成（冊子の簡略化・調達数量の精査により、調達計画額7,145万円が契約額1,215万円となり、5,930万円が削減された）

○配布基準の見直しを行い、調達数量を削減した。

財政会計六法の購入他 9 2 件

財政会計六法等 H15 740部(財会六法のみ)→H16 555部(財会六法243部・財政小六法312部) 185部の削減

社会保険六法 H15 12,150部→H16 4,510部 7,640部の削減

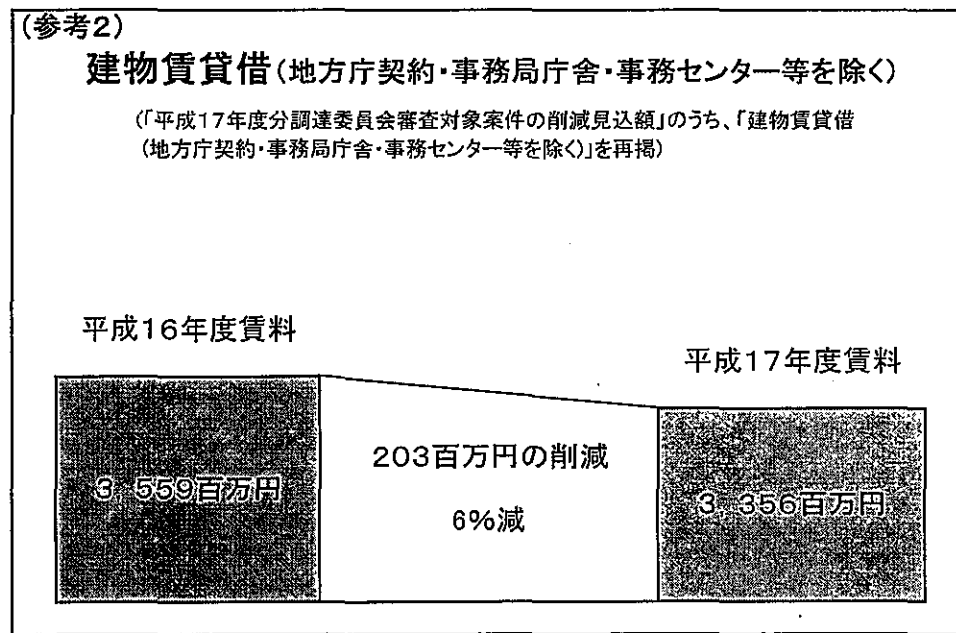
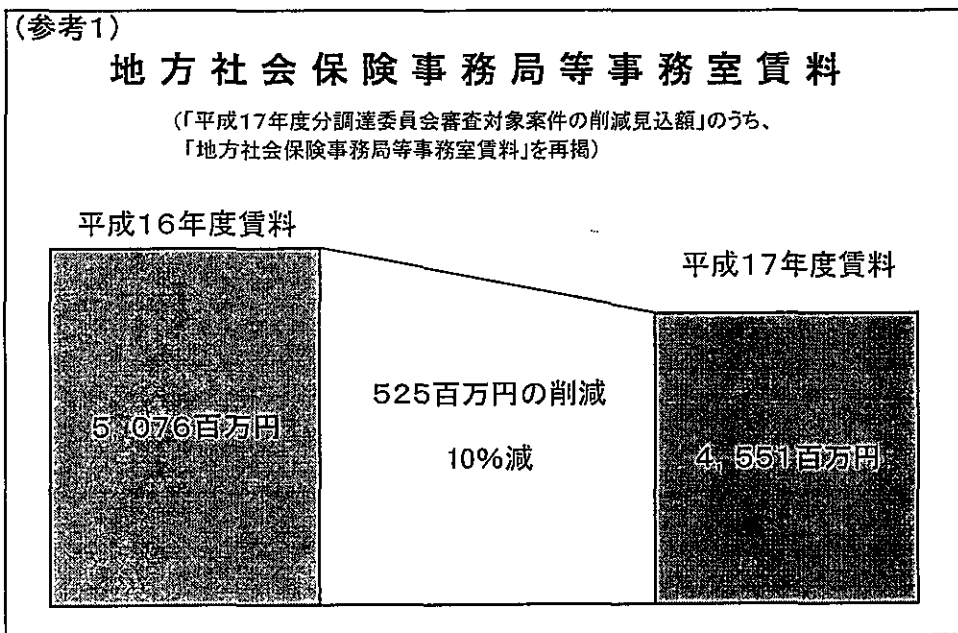
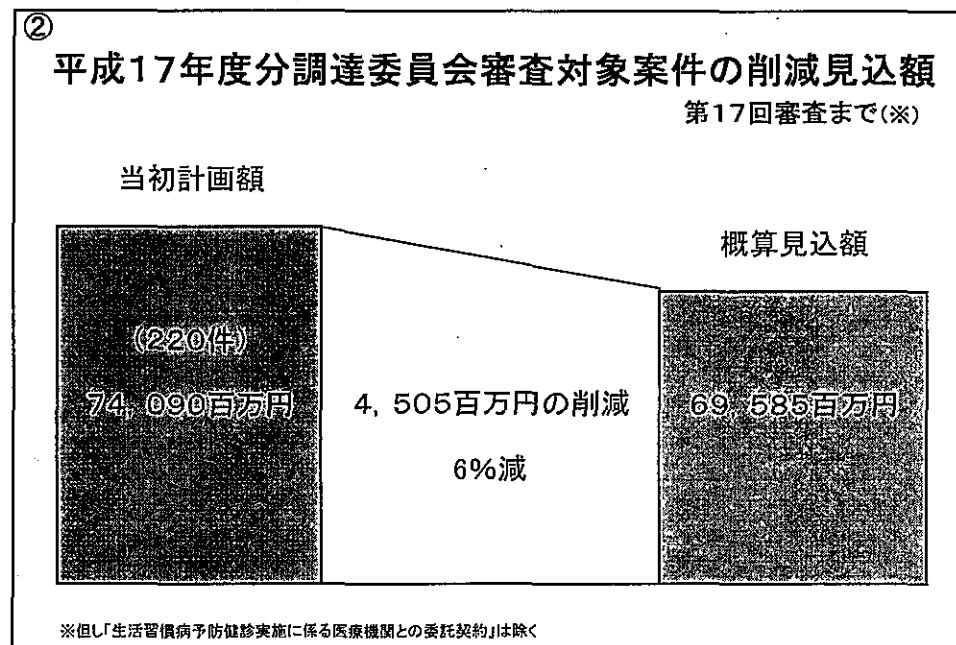
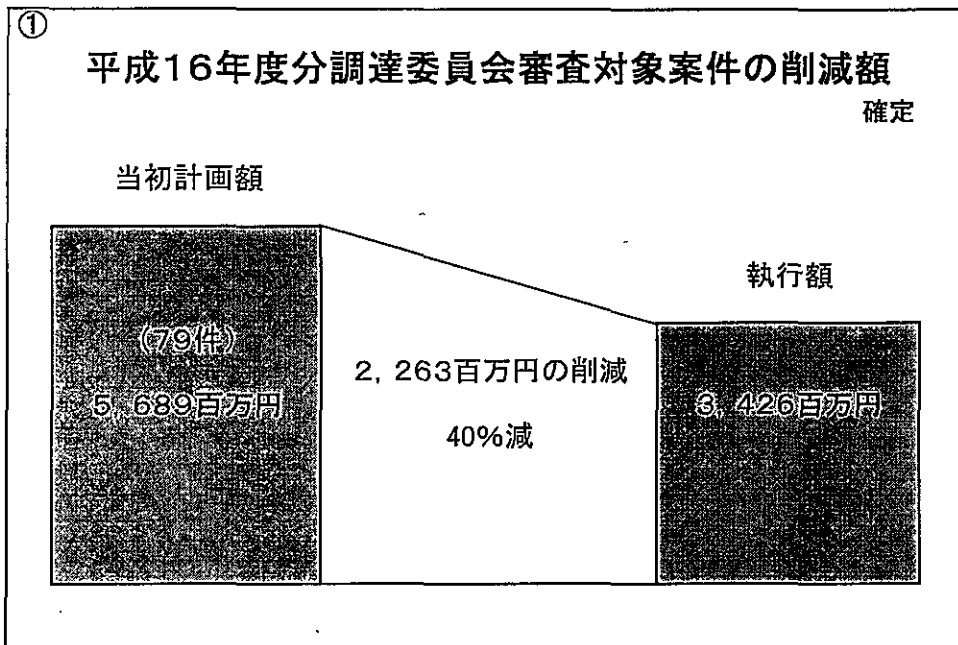
健康保険・厚生年金保険実務要覧(追録) H15 6,968部→H16 3,520部 3,448部の削減

3 仕様精査

○システム開発案件については、システム検証委員会(平成16年11月18日設置：プロジェクトリーダー(民間スタッフ)参画)において開発規模等を精査することとした。

国民年金任意加入強制喪失に係るプログラム開発他 6 6 件

調達委員会における削減効果額



①~② 68億円(8%減)